

平成19年11月27日

「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」の決定について

問い合わせ先

内閣官房地域活性化統合事務局 参事官 武政(03-5510-2165)

参事官 岩瀬(03-5521-6698)

平成19年度地方再生モデルプロジェクトについて

- 地方再生に向けた総合的な支援策の一環として、本年度既定の予算により、「平成19年度地方再生モデルプロジェクト」を先行的に実施。
(来年度からはプロジェクトの立ち上がり段階の包括的、総合的な支援策として「地方再生プロジェクト(仮称)」を実施する予定。)
- 雇用情勢の厳しい8道県(有効求人倍率が0.7未満の北海道、青森県、秋田県、高知県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)を対象として、民間の発意を公とのパートナーシップにより後押しするなど、地域の経済活性化に寄与するプロジェクトを発掘・構築し、関係支援施策を緊急かつ総合的に実施することにより、地域経済の下支えを図るもの。
- 8道県からの提案に基づいて、
- ・地方都市において、中心市街地活性化を加速しにぎわいを創出するもの(事例1)、
 - ・農山漁村において、地域の持続可能な発展を支える産業の振興を図るもの(事例2)、
 - ・基礎的条件の厳しい集落において、生活交通の確保及び地域資源の活用により地域活性化を図るもの(事例3)、
 - ・地方都市の雇用に着目し、人材育成や雇用のマッチングなどにより雇用を促進するもの(事例4)、
- 等 17プロジェクトを決定。

平成19年度地方再生モデルプロジェクト一覧

道県名	プロジェクト名	主な実施地域	
北海道	アーケード再生による冬のにぎわい創出プロジェクト	<small>おびひろ</small> 帯広市	事例1
	地域産業経済活性化による岩見沢市再生プロジェクト	<small>いわみざわ</small> 岩見沢市	
青森県	青森市中心市街地 まちづかい・まちそだてプロジェクト	青森市	
	下北地域広域観光振興プロジェクト	<small>おおま ひがしどおり かざまうら</small> むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村	
秋田県	よこて地産品発信プロジェクト	<small>よこて</small> 横手市	
	秋田県央生活交通プロジェクト	<small>あきた だいせん ごじょうめ</small> 秋田市・大仙市・五城目町	
高知県	海・山の地域資源を活用した地方再生モデルプロジェクト	<small>とさしみず すくも しまん</small> 土佐清水市・宿毛市・四万十市	
	中山間地域におけるモビリティ改善モデルプロジェクト	いの町	
長崎県	諫早湾干拓地における農業と環境、観光の融合プロジェクト	<small>いさはや</small> 諫早市	
	離島等の資源を活かした観光活性化プロジェクト	<small>ひらど おぢか</small> 平戸市・小値賀町	
	島原半島の地域資源を活かした観光振興プロジェクト	<small>しまばら うんぜん みなみしまばら</small> 島原市・雲仙市・南島原市	
宮崎県	西臼杵観光振興プロジェクト	<small>たかちほ ひのかげ ごかせ</small> 高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町	事例3
	「青島再勢」による観光活性化プロジェクト	<small>みやま</small> 宮崎市・日南市	
鹿児島県	よかまち・きやんせ定住プロジェクト	<small>さつ ませんたい</small> 薩摩川内市	
	「アクネうまいネ自然だネ」地方再生プロジェクト	<small>あくね</small> 阿久根市	事例2
	公共交通の活性化・地元大学との連携促進による中心市街地の再生プロジェクト	鹿児島市	
沖縄県	沖縄型雇用促進プロジェクト	沖縄市・うるま市	事例4

※プロジェクトの概要については地域活性化統合本部会合ホームページに掲載：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/>

(事例1) アーケード再生による冬のにぎわい創出プロジェクト(北海道帯広市)

プロジェクトのポイント

広小路商店街のアーケードにおいて、厳しい冬の中に、「冬のオープンカフェ」や歩行者天国など、市民主体の商店街のにぎわいを創出、さらに、平成10年以来閉鎖されていた大型店の空きビルの再開につなげ、中心市街地活性化の加速化を図る

○これまでの取組: 中心市街地活性化基本計画(H19年度~H23年度)

- ・アーケード再生事業等による回遊促進
- ・北の屋台による集客拠点施設整備
- ・大型店の空きビルの再開のための大規模小売店舗立地法の特例措置適用

○新たに実施する取組

☆「冬のオープンカフェ」、「畜大アンテナショップ」によるにぎわい創出

- ・アーケード街において、暖房・風よけ・若い人による活動等、様々な主体が暖かさを演出し、「冬のオープンカフェ」や歩行者天国を実験的に実施
- ・帯広畜産大学と連携した空き店舗におけるアンテナショップ等の設置
※アンテナショップ: 大学でつくった乳製品や大学グッズの販売

☆ 観光客を中心市街地に呼び込むモデルツアー

- ・スキー客を中心とする観光客を商店街に呼び込むモデルツアーの実施(『北の屋台』との連携)

☆ 「ウォーク&ライド」(バスの一日フリーパスの導入等による回遊性の向上)

☆ 中心市街地商業活性化アドバイザーの派遣による支援



○ 効果

- ・大型店の空きビルの再開による雇用創出効果の早期発現
- ・歩行者通行量の増加



(事例2) 「アクネうまいネ自然だネ」地方再生プロジェクト(鹿児島県阿久根市)

プロジェクトのポイント

阿久根市における地域資源を活かした「食のまちづくり」の取組に加え、阿久根駅(肥薩おれんじ鉄道)を中核とした公共交通活性化施策(駅及び周辺の施設整備、イベントや旅行商品の企画・開発等)を検討・推進しつつ、宿泊施設、地域特産品の販売施設及び観光交流施設を整備することにより、都市との地域間交流を促進し、食の関連産業分野における雇用創出を図る

○ これまでの取組

- ・構造改革特区計画・地域再生計画による取組の着実な推進
 - －「アクネうまいネ自然だネ」特区
農地貸し付け方式による株式会社等の農業経営への参入容認
 - －「アクネうまいネ自然だネ」雇用創出プラン(地域再生計画 H18年度認定)
地域提案型雇用創造促進事業(パッケージ事業)
「食のまちづくり」に向けて、食品関連産業に資する新たな技術やノウハウ、人材育成を実施
- ・体験型観光の推進(H15年度～)
 - －体験型観光(グリーンツーリズムやブルーツーリズム)による都市と地域間交流の促進

○ 新たに実施する取組

- ★ 公共交通の活性化に向けた検討
阿久根駅(肥薩おれんじ鉄道)を中核とした公共交通活性化に向けた行動計画(魅力ある阿久根駅及び周辺施設の再整備、地場産業と連携したイベントや旅行商品の企画・開発等)を策定
- ★ 地域間交流促進施設の整備
阿久根駅構内に使用済みの寝台車両等を活用した宿泊機能を持つライダーハウス、地域特産品販売施設及び観光交流施設を整備

○ 効果

- ・食の関連産業分野における雇用創出
- ・食料品製造年間出荷額の増加

グリーンツーリズムやブルーツーリズムによる体験型観光の推進

農地貸付方式による株式会社等の農業経営への参入(特区)



肥薩おれんじ鉄道と阿久根市の農林水産業、観光、温泉等の地場産業とが連携したイベントや旅行商品の企画・開発等

使用済みの寝台車両等を活用し、宿泊施設、地域特産品販売施設及び観光交流施設を整備

地域資源を活用した食の関連産業の育成による雇用の創出(地域再生)



(事例3) 西臼杵観光振興プロジェクト(宮崎県高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町)

プロジェクトのポイント

宮崎県の中でも最も雇用情勢が厳しく、交通不便地域でもある西臼杵地域において、観光・交通の拠点である熊本・阿蘇地域との連携強化のための路線バスの導入、及び、西臼杵3町間のデマンド型乗合タクシー等の導入により、地域の足を確保するとともに、地域資源を活かした新たな観光ルートを開発、感動案内人によるガイド等により、広域的な観光振興を図る

○ これまでの取組

- ・「地域再生計画」の認定 H19年9月(高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町)
 - ー地域に密着した質の高い旅行企画の創出
- ・「森林セラピー基地」H18年4月認定取得(日之影町)
 - ー森林の癒し効果が科学的に実証され、都市住民のニーズに対応したセラピープログラムや歩道、滞在施設などが整備されている地域
- ・「宮崎県北地域雇用開発計画」H19年10月厚生労働大臣同意
 - ー企業誘致の積極的な展開、観光資源を活用した北宮崎観光ルート形成による広域観光振興等

○ 新たに実施する取組

- ・熊本空港・阿蘇地域と観光資源豊かな西臼杵地域を結ぶ観光路線バスの運行(年間1900万人の観光客が訪れる阿蘇地域との連携強化)
- ・3町内を回るデマンド型乗合タクシーの運行により観光客の移動手段を確保し、神話の里など3町に点在する観光スポットを周遊する西臼杵フリーパスポートを試行、併せて地域住民の通院等の足を確保
- ・地域雇用創造支援事業(厚生労働省)で研修した感動案内人や郷土料理のマイスターを活用し、地域資源を活かしたモデルツアーを実施(各農村集落で行われる夜神楽などを巡る「スローな地域巡り」、森林や農業・木材加工の「体感・体験型」など)



○ 効果

- ・観光客数の増加
- ・飲食、加工、旅行関連産業等の活性化による雇用増



(事例4) 沖縄型雇用促進プロジェクト(重点実施:沖縄県沖縄市・うるま市)

プロジェクトのポイント

沖縄県の最優先課題の一つである雇用問題に対する県独自の取組『みんなでグッジョブ運動』を加速するため、失業率の特に高い沖縄中部地域を重点地域として、地域の雇用状況に応じたきめ細かな雇用対策を集中的に実施

○ これまでの取組

- ・コールセンターオペレーター養成講座、PC実務研修
- ・ホームヘルパー養成
- ・観光ガイド、音楽ビジネス人材養成講座 等

○ 新たに実施する取組

☆雇用マッチング促進

情報・観光関連や看護師等、雇用ミスマッチの大きい職種を中心にフォーラムの開催や企業合同説明会、研修プログラム等を実施し、マッチングを促進

☆就業意識改善促進

地元企業と学校の連携により、就業意識の改善を促進するジョブシャドウイング(学生が働く人に「影」のように付き添いながら仕事の様子を観察する体験型職業教育)をモデル実施

また、県民の雇用意識高揚に繋がる広報も併せて実施

☆核世代再チャレンジ雇用支援

ライフサイクルを通じて他の世代より失業率の高い働き盛り世代(35~44歳)を対象に適職フェア、雇用奨励金制度等を構築

○ 効果

- ・各雇用対策事業による雇用増

現場に根差した民間の「知恵」を迅速に吸い上げ、政策に反映

地域活性化伝道師
(みんなでグッジョブ運動推進アドバイザー)

連携

みんなでグッジョブ運動 (県民運動)

※みんなでグッジョブ運動:雇用対策を短期・集中的に強力に実施することで、平成19年度~平成22年度の4年間に、雇用状況を全国並み(約4万人の雇用及び完全失業率4%台)に改善することを目指した取組

療養センター・人材育成



音楽ホール・人材養成



フォーラムの開催 (イメージ)



合同面接会 (イメージ)



ジョブシャドウイング (試行実施の様子)



地域産業経済活性化による岩見沢市再生プロジェクト(北海道岩見沢市)

プロジェクトのポイント

ICT基盤の整備、地産地消の拡大、中心市街地の活性化、先端産業の立地などの取組の促進に併せて、雇用創出の取組を推進することにより、地域産業経済の活性化と雇用の拡大を図る

○ これまでの取組(岩見沢21世紀プロジェクト・市政方針)

- ・農産物等の地場産品・特産品開発などの振興
- ・中心市街地の中小商店街等の振興
- ・先端産業の誘致に向けた取組

○ 新たに実施する取組

☆岩見沢市地域雇用創造計画の推進

- ・雇用拡大メニュー
企業経営者・人事担当者を対象とした人材マネジメント習得に関するプログラム
- ・人材育成メニュー
顧客対応や販売促進などに関するプログラム、起業の促進
- ・就職促進メニュー
情報提供コーナーの設置 など

☆情報通信基盤の整備

- ・デジタルディバイドの解消
- ・無線アンテナ等の整備

☆地域活性化応援隊の派遣

☆ワークプラザの整備(道補助事業)

- ・地域の雇用促進のための拠点施設整備



○ 効果

- ・地域産業経済の活性化による雇用の創出

地域産業経済の活性化・雇用の拡大

岩見沢市における重点的な分野を核とした地域活性化の推進

- 販売・サービス関連分野
- IT・先端産業分野

【岩見沢市地域雇用創造計画の推進】



- ・雇用拡大メニューの推進
- ・人材育成メニューの推進
- ・就職促進メニューの推進

【地域活性化応援隊の派遣】

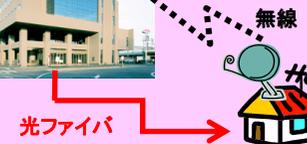
【ワークプラザの整備】 (道補助事業)



雇用関連情報の提供による雇用の促進

【情報通信基盤の整備】

ネットワークセンター



デジタルディバイドの解消



岩見沢市

連携

青森市中心市街地 まちづかい・まちそだてプロジェクト(青森県青森市)

プロジェクトのポイント

中心市街地活性化基本計画(H19年2月認定)の既存の取組に加え、新たな街なか集客施設や広場の整備、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)*サイト活用等による地域情報ネットワークの構築等を集中的に実施することで、コンパクトシティ形成の加速化を図る

*ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS):掲示板や日記などを活用して、趣味や嗜好、居住地域など、共通する情報や考え方を持つ人同士のつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。

○ これまでの取組: 中心市街地活性化基本計画(H18年度~H23年度)

- ・分散しているバスターミナル機能の駅前への集約
- ・文化観光交流施設や市民ホール、既存の広場周辺の整備等による回遊促進
- ・まちなかサポーターズ事業による高齢者等のサポート

○ 新たに実施する取組

- ☆新たな街なか集客施設等の整備
 - ・温浴施設の新設、既存ホテルのコンバージョンによる物販や飲食施設の整備等
- ☆SNSサイト活用等による地域情報ネットワークの構築、コンテンツ検討のための実証的取組
 - ー中心市街地の商業施設・ロコミ情報
 - ー住み替え支援のための情報
 - ー駐車場の満空情報・チョイ止め無料駐車場・駐車券サービス情報
 - ー市民(高齢者)向けICTセミナーの開催 等
- ☆地域情報化アドバイザーの派遣

○ 効果

- ・コンパクトシティ形成の加速化による雇用増
- ・歩行者通行量の増加



下北地域広域観光振興プロジェクト(青森県むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村)

プロジェクトのポイント

東北新幹線七戸駅(仮称)の平成22年開業の機会に合わせ、主要観光施設を結ぶ幹線道路の狭隘箇所解消等とともに、下北地域の自然・歴史・文化などの地域資源の発掘・地域ブランド形成に向けた取組(食を核とした冬季観光振興、首都圏の大学と連携した交流等)により、ハード・ソフト両面から広域的な観光振興を図る

○ これまでの取組

- ・東北新幹線七戸駅(仮称、H22年度開業予定)
- ・下北半島縦貫道路の整備
- ・津軽海峡文化館、活イカ備蓄センター等の観光資源

○ 新たに実施する取組

☆ハード整備

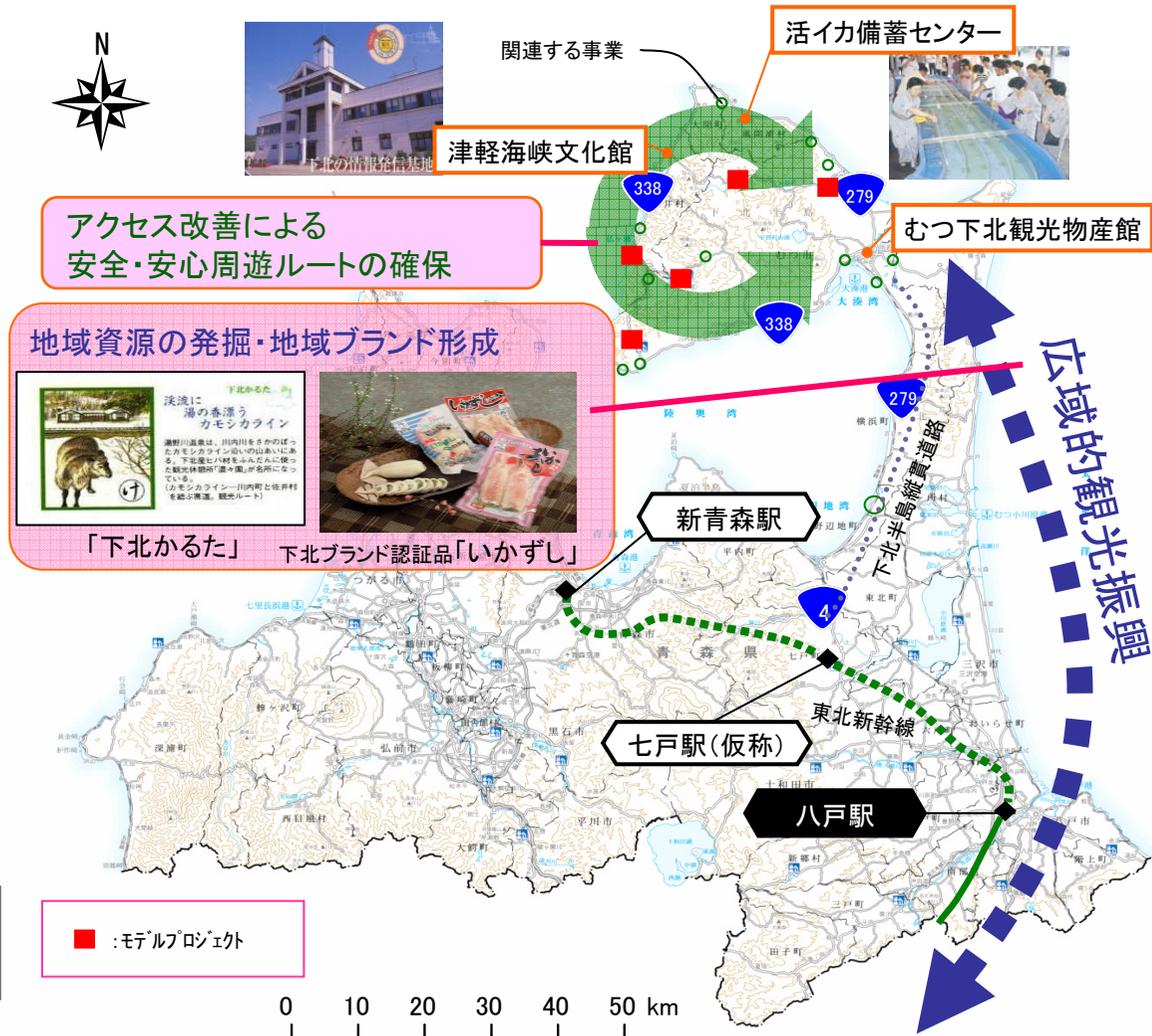
- ・橋梁補修、狭隘箇所対策等による幹線道路の整備、安全で安心して周遊できるルートの確保

☆ソフト施策

- ・「下北かるた」や「下北ブランド認証品」を活用した地域住民による「下北地域魅力再発見セミナー」の開催
- ・「下北ブランド認証品」のPRや、「下北かるた」ゆかりの地をめぐる周遊型のモデルツアーの実施等、冬季観光客増を目指した実証実験
- ・首都圏の大学と連携した、学生による下北地域を首都圏の若者に売込むためのニーズ・シーズ発掘調査・シンポジウム開催
- ・地域活性化伝道師の派遣

○ 効果

- ・観光客数の増加及びそれに伴う雇用増



よこて地産品発信プロジェクト(秋田県横手市)

プロジェクトのポイント

横手市の特徴を表す食ブランドの確立・向上の取組(夏場を中心とするしいたけの周年出荷体制の構築や発酵食品のPR等)と、関連するICT人材の育成と併せたICT環境・基盤の整備を実施

○ これまでの取組

- ・「全国発酵食品サミット in 横手」(H20年3月開催)による食文化の発信
- ・食マーケティングまるごと相談所(専門家による農産品ブランド化支援)
- ・アグリビジネス人材(販売促進等)の育成
- ・しいたけの仕込み機器の拡充、空調栽培施設等、特に夏場の品質向上対策による周年出荷体制の構築(H19年～)
- ・食のまち、産地としての価値を高めるサイト作成

○ 新たに工夫する取組

☆ 地域情報化アドバイザー・地域活性化伝道師の活用

- ・冷却方式を活用し夏季を含む周年出荷を目指すしいたけ、麴を始めとする発酵食品等、地域の特徴を表す食ブランドを確立・向上させるため、新商品開発、事業者によるネット販売、マーケティング方策の確立、関連するICT人材の育成等を図ることが必要であり、地域情報化アドバイザー派遣事業等を積極的に活用

☆ ICT環境・基盤整備

- ・ICT人材の育成と併せ、ブロードバンド環境等のICT環境・基盤を整備

○ 効果

- ・地域産業活性化(ICT、アグリ販売戦略等)による雇用増

しいたけや発酵食品などの特産品を活用した食のまちづくり



【特産品の供給】
アグリビジネス人材育成
しいたけ生産設備整備

【特産品の紹介】
全国発酵食品
サミット in 横手

【地域情報化アドバイザー】
【地域活性化伝道師】
・食ブランド確立・向上
・ネット販売・マーケティング方策
・ICT人材の育成 等

【光ファイバー網の整備】
・ブロードバンド環境の整備

横手市

ICTを活用したブランド食材の販路拡大

秋田県央生活交通プロジェクト(秋田県秋田市・大仙市・五城目町)

プロジェクトのポイント

県央部のバスを中心とした地域交通の活性化により、農山村、中山間地域の地域コミュニティ維持と中心市街地活性化を図る

○ これまでの取組

<秋田市>

- ・秋田駅東口駅前広場の整備(H17年3月)
- ・西部地域郊外部コミュニティバス運行(H17年度~)
- ・北部地域郊外部のデマンド型乗合タクシー実証実験(H19年9月)
- ・秋田市地域公共交通協議会の設置(H19年9月)
- ・秋田駅周辺におけるバス総合案内システムの整備(H19年度末供用開始予定)

<五城目町>

- ・全国都市再生モデル調査:郊外大型店と朝市間のバス運行

○ 新たに実施する取組

☆ 公共交通の活性化と地域交通対策

- ・コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの導入、スクールバスとして路線バスを試験的に活用
 - 一秋田市、五城目町 : 路線バスをスクールバスとして試験的に活用し、子供の安全と、路線バス維持の両立を図る
 - 一大仙市: コミュニティバス、デマンド型乗合タクシー導入に向けた停留所等の整備
- ☆ 県主催のセミナー等において、3市町の取組を踏まえながら、県内各地域の交通ネットワークのあり方について検討



○ 効果

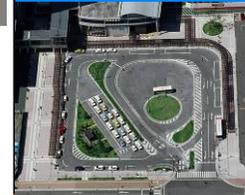
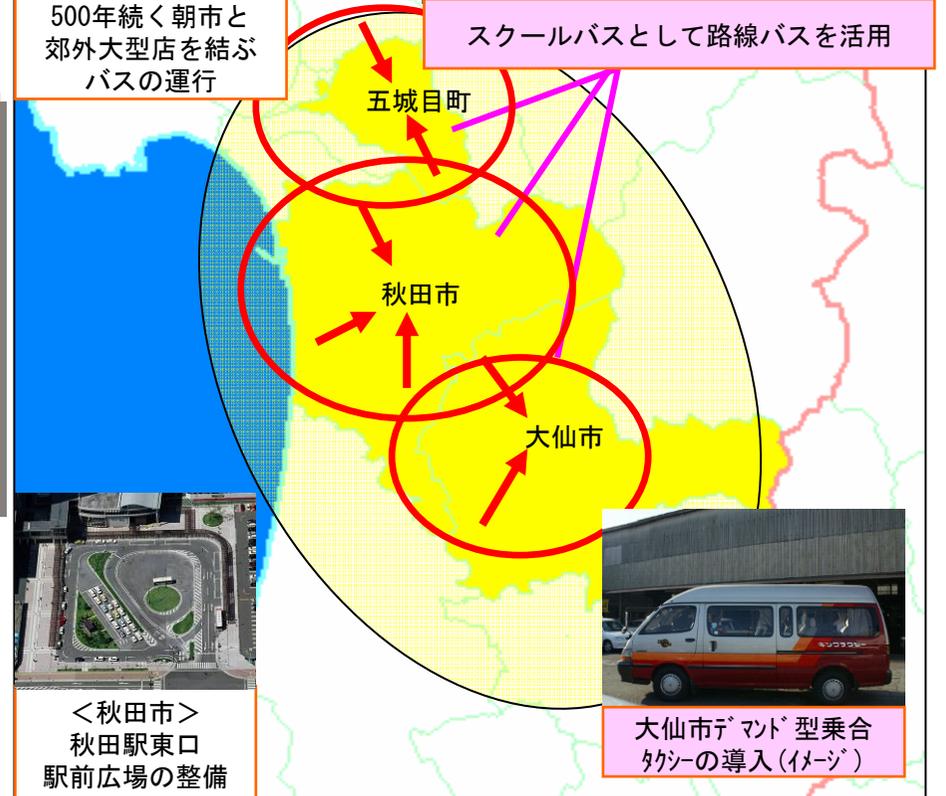
- ・公共交通の活性化と、子供の安全確保



<五城目町>
500年続く朝市と
郊外大型店を結ぶ
バスの運行



スクールバスとして路線バスを活用



<秋田市>
秋田駅東口
駅前広場の整備



大仙市デマンド型乗合
タクシーの導入(イメージ)

海・山の地域資源を活用した地方再生モデルプロジェクト(高知県土佐清水市・宿毛市・四万十市)

プロジェクトのポイント

土佐清水市における日本屈指の「宗田かつお」を有効活用するための加工施設整備・販路拡大、市場価値が低い規格外農産品・低価格魚を無駄にしない地産地消の取組、県営林をフィールドとした森林健全化のモデル的取組等、地域の資源である一次産品の有効活用による持続可能な地域づくりを目指す

○ これまでの取組

- ・高知県工業技術センターと連携し、宗田節に代わる宗田かつおを活用した新たな加工食品『姫かつお』の開発
- ・地域雇用創造推進事業(地域再生計画)
地域の資源を活かした特産品開発や農林・水産加工業の推進、体験型・滞在型観光の推進等による雇用創出

○ 新たに実施する取組

- ☆ 宗田かつおを有効活用する加工施設整備
一時期に大量に獲れる宗田かつおを有効活用するため、『姫かつお』加工施設を拡充し、全国に販路拡大を目指す。
- ☆ 規格外農産品・低価格魚の加工施設整備
市場価値が低い規格外農産品・低価格魚をカット野菜や天ぷら(練り製品)等に加工し、地域食材として地元施設等に提供することにより地産地消を推進
- ☆ 県営林の有効活用による雇用創出・担い手育成
県営林を有効活用して、間伐・除伐・作業道等、収入確保も考慮した森林の健全な管理のモデル的取組、担い手育成
- ☆ 地域活性化伝道師の派遣

○ 効果

- ・加工施設拡充及び県営林活用等に伴う雇用増



中山間地域におけるモビリティ改善モデルプロジェクト(高知県のいの町)

プロジェクトのポイント

いの町中心部(病院、福祉施設等)と路線バスの継続が困難な地域を結ぶ「定時制デマンド型乗合タクシー」の実証運行実験・検証、生活支援道路の整備を実施することにより、モビリティの改善を図るとともに、豊かな自然環境等を活用した観光ルート・観光資源等の検討を行うなど、交流人口の拡大を目指す

○ これまでの取組

- ・道整備交付金(地域再生計画)
町道を一体的・効率的に整備して、住民が安心できる町づくりと都市部住民との交流人口の拡大
- ・いの町公共交通検討委員会における検討

○ 新たに工夫する取組

- ★ 過疎地域の移動手段の確保
 - ・町中心部と路線バスの継続が困難な地区を結ぶ定時制デマンド型乗合タクシーの実証運行実験・検証
- ★ 生活支援道路の整備(道整備交付金)
 - ・町道横敷線
- ★ 中山間地域における交流人口を拡大するための検討
 - ・町道整備による、豊かな自然環境や土佐和紙など伝統文化を活用した観光ルート・観光資源の検討(地域活性化伝道師の派遣・活用)



○ 効果

- ・モビリティ改善による定住促進



諫早湾干拓地における農業と環境、観光の融合プロジェクト(長崎県諫早市)

プロジェクトのポイント

諫早湾干拓地において、太陽光発電や電動農業機械等を活用した循環型次世代農業の実験等に取り組むとともに、当該実験場や環境体験学習施設、干拓事業の歴史等を地域資源として活用した観光振興を行うことにより、農業と環境、観光が融合した地域活性化モデルを確立する

○ これまでの取組

- ・諫早湾干拓事業(S61年~H19年) 農地等:約816ha
大規模区画(3ha~6ha)で効率化が可能
全面農地リース方式や環境保全型農業を推進
- ・地域再生計画による取組(H17年度~H21年度)
排水対策等による農業生産の向上、親水空間の再生

○ 新たに実施する取組 (地元企業、行政等による協議会※)

☆ 循環型次世代農業(地元企業、大学と連携)

- ・太陽光発電を活用した電動農業機械の検証
- ・バイオマス燃料(雑草等)によるハウス暖房の検討

☆ 諫早湾干拓地の特徴を活かした観光等

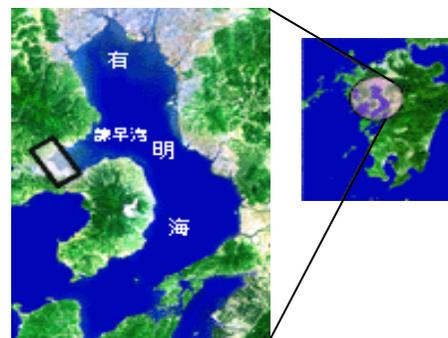
- ・干拓事業の歴史や環境体験学習施設、循環型次世代農業実験場等を活用した体験型観光メニューを開発、特産品開発



(※)諫早湾干拓農業・環境・観光融合プロジェクト
検討協議会(仮称)

○ 効果

- ・見学ツアー(社会見学、修学旅行、農業視察等)等による観光客の増加、イメージアップ
- ・次世代型農業への転換による新たなブランド構築

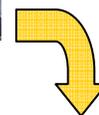


諫早湾干拓地

循環型次世代農業



太陽光パネル

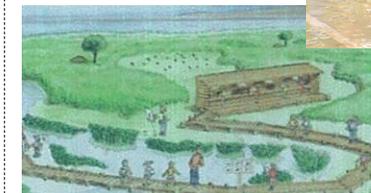


電動農業機械

体験型観光メニュー等



諫早ゆうゆうランド
干拓の里



環境体験学習施設

離島等の資源を活かした観光活性化プロジェクト(長崎県平戸市・小値賀町)

プロジェクトのポイント

長崎県の離島等(平戸島・生月島)において、観光客のための島内観光施設・地元特産物等に利用可能な地域通貨を活用することで、観光客を呼び込み、離島等の観光及び地元特産物等の売上げの拡大を図るとともに、離島内交通の利便性の向上により、観光振興と定住促進を同時に図る

○ これまでの取組

- ・地域再生計画による取組 (地域提案型雇用創造促進事業)
 - －歴史、文化、自然を活かした観光ルートの開発
 - －体験型観光の開発、特産品開発 等

○ 新たに実施する取組

☆ 地域通貨を使った離島等への観光客呼び込み

離島間有料道路を渡る観光客に対して、地元が発行する地域通貨を配布し、地元特産物・島内観光施設等において使用してもらうことにより、観光振興と地元特産物の売上げ拡大の効果を把握するとともに、地域通貨の今後の流通・管理・有効な活用方法等について検討

☆ 離島内交通の利便性向上

住民・観光客の交通利便性を向上を目的とした乗合タクシー・コミュニティバス等の導入に係る施設整備

○ 効果

- ・観光客数の増加及びそれに伴う雇用創出
- ・離島住民の定住促進

離島等への観光客増を目指す社会実験



離島間架橋



豊富な地元水産物



離島地域の体験型観光



キリスト教文化遺産



地元特産の菓子類

島内の交通利便性向上のためのコミュニティバス等の導入

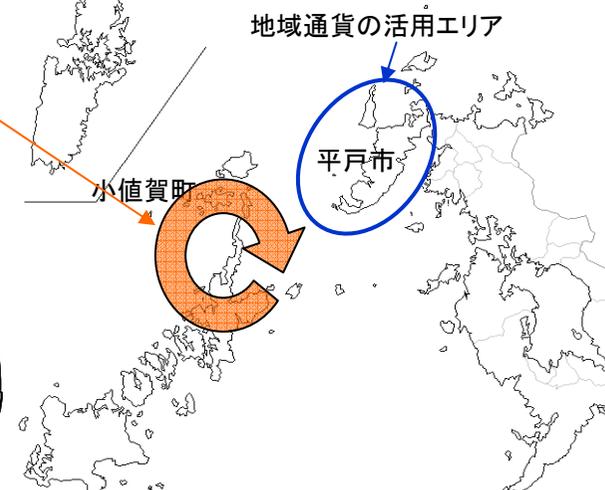


路線バス

転換



乗合タクシー化等による多頻度運行



島原半島の地域資源を活かした観光振興プロジェクト(長崎県島原市・雲仙市・南島原市)

プロジェクトのポイント

島原半島地域の温泉、自然、歴史、食などの豊かな観光資源を活かすため、鉄道駅や高速道路ICからのアクセス改善のための道路整備、フェリー接岸施設や新鮮な水産物を供給するための港湾整備等により、観光振興を図る

○ これまでの取組

- ・全国都市再生モデル調査(H18年度)
雲仙地獄やキリシタン殉教碑等を活かした観光コース開発
- ・地域再生計画(H19年度～H23年度)地域効用創造推進事業
人材育成による企業誘致、観光、農業を柱とした地域活性化
- ・歴史民族資料館、道の駅「みずなし本陣ふかえ」、小浜歴史資料館等の観光施設の整備
- ・路線バスから乗合タクシー、コミュニティバス等への転換による交通利便性向上

○ 新たに実施する取組

- ☆ 観光客の回遊性を高めるための主要観光拠点へのアクセス改善
 - ・県内外の拠点間のアクセス確保のための広域道路網の整備
 - ・フェリー航路充実のための港湾施設の機能確保
 - ・観光拠点と幹線道路のアクセス改善や観光地の歩行環境改善
- ☆ 地元水産物の地産地消と安定供給のための基盤整備
 - ・観光の目玉である新鮮な水産物を観光拠点へ供給

○ 効果

- ・観光客数の増加及びそれに伴う雇用創出



「青島再勢」による観光活性化プロジェクト(宮崎県宮崎市・日南市)

プロジェクトのポイント

シーニックバイウェイ ジャパン(日南海岸きらめきライン)に指定されている日南海岸の中で、特に重要な観光地である青島地域を中心とした、花の咲き誇る景観づくり、地域新ブランドの創製、観光拠点「道の駅フェニックス」の魅力アップ等、ハード・ソフト両面による取組により青島の「再勢」を果たし、観光活性化を図る

○ これまでの取組

- ・H18年 青島地域活性化基本構想の策定
- ・H19年 青島地域活性化基本計画策定中
 - ー地元の多様な担い手が連携した「青島再勢プロジェクト」が参画中
- ・国道220号 青島～日南改良事業、沿道修景美化対策事業 等

○ 新たに実施する取組

☆ 青島地域活性化のための総合的な取組等を支援

- ・「みやざきフラワーフェスタ」(メイン会場:こどものくに(宮崎市青島))に合わせて“青島まちなかフラワーフェスタ”を民間主導で開催
- ・道の駅フェニックスの魅力アップ創出(イベント時に海岸と道の駅の一体化を図るため、道の駅内に迂回路を整備し、国道を歩行者天国化)
- ・青島地区全体をブーゲンビリアでいっぱいにするための調査・研究を行い、花のまちづくりを進める
- ・地域の農水産物(あしたば、マンゴー等)を活用した商品開発、販路開拓について調査・研究し、食の魅力アップによる活性化を目指す
- ・県内有数の観光地である鶴戸神宮の参道再生(台風により崩壊した参道脇の傾斜地の保全整備)

○ 効果

- ・観光客数の増加及びそれに伴う商店街活性化等による雇用創出



よかまち・きやんせ定住プロジェクト(鹿児島県薩摩川内市)

プロジェクトのポイント

「薩摩川内市よかまち・きやんせ定住プラン」に基づき、市への移住希望者に対する定住に役立つ情報の提供や、住宅取得に関する補助事業、新幹線通勤定期購入補助等の定住促進に向けた取組に加え、コミュニティバスの運行等による公共交通の活性化を推進し、新たな定住者も含めた地域住民の移動手段、利便性を確保することにより、定住促進に向けた環境の整備を図る

○ これまでの取組

- 「薩摩川内市よかまち・きやんせ定住プラン」(H18年)
- ・市内定住住宅取得補助事業(市内転入者の住宅購入費の一部補助)
 - ・新幹線通勤定期購入補助(5,000円/月を補助)
 - ・余暇交流体験モデル事業(民間団体と共同で定住希望者の交流体験事業を実施) 等

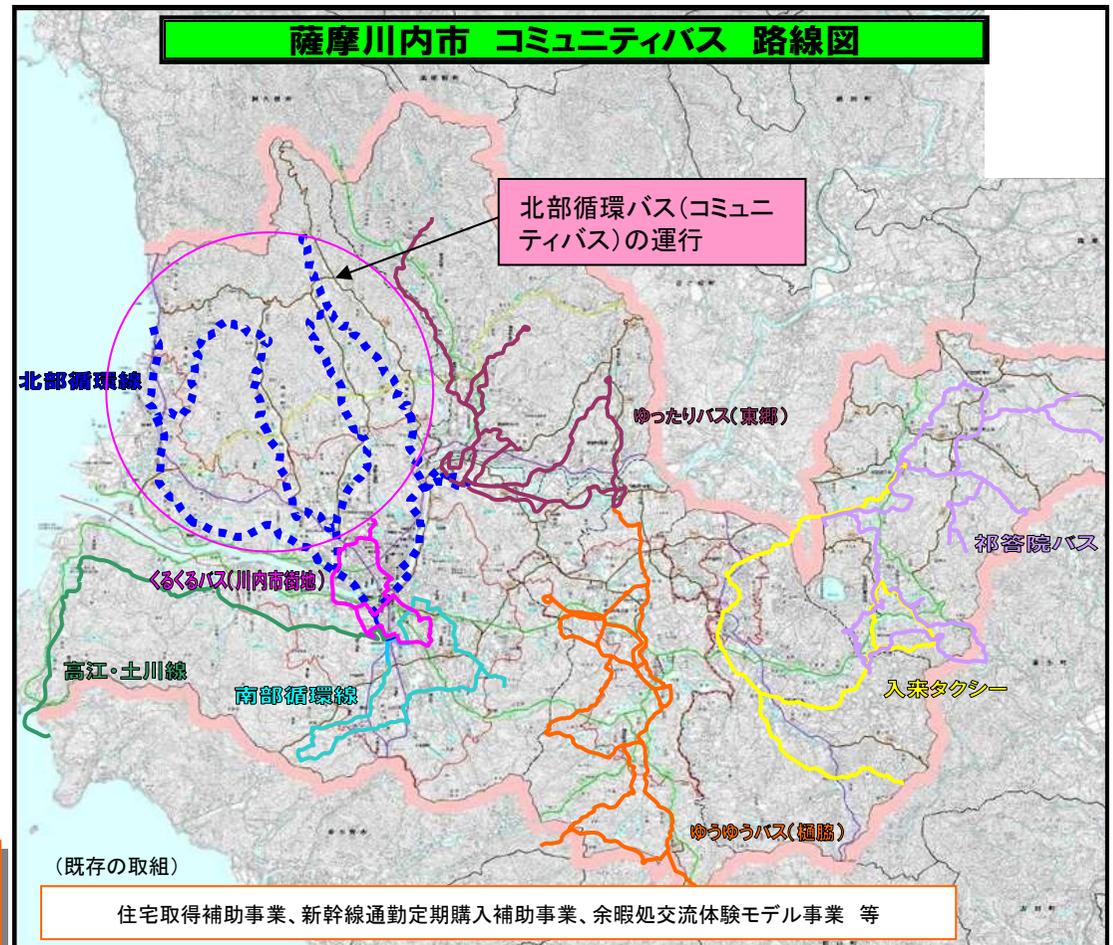
○ 新たに実施する取組

☆ コミュニティバスの実証運行

薩摩川内市北部(湯田・西方・城上・吉川地区)の交通不便地域において、コミュニティバス(大人100円、小人50円)の実証運行を行い、地域住民の移動の機会を確保するための公共交通のあり方を検証

☆ 公共交通の利便性向上の検討

薩摩川内市内を運行するコミュニティバス、肥薩おれんじ鉄道等の公共交通アクセス改善策、市内の公共交通を網羅した公共交通マップの作成など、公共交通の活性化に向けた行動計画を策定



○ 効果

- ・定住促進を図り、定住人口の減少に歯止め

公共交通の活性化・地元大学との連携促進による中心市街地の再生プロジェクト(鹿児島県鹿児島市)

プロジェクトのポイント

都市再生整備計画(鹿児島市都心部地区)に基づく各種取組の推進に加え、市電軌道敷の緑化、電停上屋の整備、バスロケーションシステム導入調査事業により、潤いと安らぎのある都市空間の創出や公共交通の利便性の向上を図るとともに、鹿児島大学との連携による商店街活性化策を検討・推進し、中心市街地の再生を加速化させる

○ これまでの取組

- 都市再生整備計画(鹿児島市都心部地区)に基づく各種取組の推進等による中心市街地の活性化
- ・商店街ファンタスティックイルミネーション事業
 - ・街なか空き店舗活用事業
 - ・中央町22番・23番街区市街地再開発事業 等

○ 新たに実施する取組

- ・市電軌道敷の緑化整備による潤いと安らぎのある都市空間の創出
- ・電停上屋の整備、バスロケーションシステム導入調査事業による公共交通の利便性の向上
- ・鹿児島大学との連携による商店街活性化策の検討・推進によるまちなかのにぎわいの創出



○ 効果

- ・宿泊観光客数の増加、空き店舗率の改善
- ・空き店舗率改善に伴う雇用創出

